

2020年4月

会員各位

一般社団法人 型技術協会

第30回型技術協会賞受賞者の決定について

本会では、型技術ならびに型産業のより一層の発展を図ることを目的に「型技術協会賞」を設け、1991年より「功績賞」「技術賞」「型技術論文賞」、1996年より「型技術者会議」および「型技術ワークショップ」の発表より総合的に優秀な講演者等を顕彰する「奨励賞」が設置され、特に優れかつ貢献度の高い型に関する技術等に対して、毎年顕彰を行っております。本年もそれぞれの受賞者を決定いたしましたので、ここに各々の受賞者をお知らせいたします。

なお、本賞における賞金および表彰に関する費用につきましては、(公財)金型技術振興財団の協力を得て行っております。

表彰式は「型技術者会議 2020」開催中の下記日程で行います。多数のご参加をお願いいたします。

贈賞式(総会含む)

日時：2020年6月18日(木) 13:40～14:50

場所：大田区産業プラザ PiO

〒144-0035 東京都大田区南蒲田 1-20-20

(JR 京浜東北線 蒲田駅より徒歩12分、京浜急行 京急蒲田駅より徒歩2分)

* 「型技術者会議 2020」の参加はお申込みが必要となります

第30回型技術協会賞

「功績賞」

型技術の進歩、向上、発展に関して特に功績の大きかった個人

受賞者 **安齋 正博** (芝浦工業大学)



高速ミーリング研究成果を金型の高精度・高能率加工につなげた。型技術協会の設立以来、理事、編集委員長、企画委員長、副会長を歴任し、型技術協会の発展に貢献した。

受賞者 **野田 泰義** (KTX 株式会社)



原型の形状や模様 of 転写性において、抜きん出た精密さを発揮する電気電鋳金型を開発。日本金型工業会、理事および技術委員として金型業界の発展に尽力した。

「技術賞」

特に優れた貢献度の高い型技術の開発者（一般公募）

受賞題目及び受賞者

ポリ乳酸製薄肉容器・超臨界二酸化炭素射出成形金型技術の開発

小松 道男（小松技術士事務所）

「型技術論文賞」

「型技術」誌に掲載された特に優れた論文等の著者

受賞論文及び執筆者

ABS 装置用部品の軽量化・低コスト化に寄与する

押込み絞りプレス加工技術の開発（2019.6月号）

馬場 保、松下 祐輔（日伸工業株式会社）

冷間圧造技術を活かした異種金属接合工法「AKROSE」の開発（2019.6月号）

山本 浩二、手島 政和（日東精工株式会社）

金属樹脂接合技術「ポリメタック®」

-ヒート&クール成形法を用いた金属／非晶性樹脂の一体成形-（2019.10月号）

井上 悟郎、木村 和樹、三隅 正毅（三井化学株式会社）

「奨励賞」

型技術者会議および型技術ワークショップにおける優秀講演者および連名者

「型技術者会議 2019」

CNF 樹脂活用への成形技術と家電筐体への適用事例

石田 卓輝、西野 彰馬、切通 毅、峯 英生、曾山 隆彦、
佐藤 照久、榎本 武弘 (パナソニックプロダクションエンジニアリング株式会社)

「走る歓び」の実現に向けたシリンダーヘッド寸法のモデルベース開発

梅原 美友、米澤 英樹、丸尾 幸治、末永 啓太 (マツダ株式会社)

金属 3D プリンタにおける金型鋼の応力解放技術

新家 一郎、岡崎 秀二、松本 格 (株式会社ソディック)

「型技術ワークショップ 2019」

プラスチック金型における電極製作・放電加工の自動化システム開発

黒川 一成 (キヤノン株式会社)

クランクシャフト鍛造ラインにおける IoT を活用した粗材品質向上の取組み

中村 公香、藤川 真一郎、松苗 宏樹、渡邊 敦夫、石井 賢一郎
(日産自動車株式会社)

異形工具を用いた加工時間短縮活動

針原 保、松本 康彦、鈴木 清孝 (ヤマハ発動機株式会社)

※所属は論文掲載時による